

編 集 後 記

皆さまのお手元に「広島国際大学看護学ジャーナル」第9巻第1号をお届けいたします。

今回は研究報告3編，資料2編，その他1編を掲載することができました。特にこのたびは若い先生方の活躍が伺える内容となっています。忙しい日々の中で研究という孤独で地味な努力と真摯に向き合い，その成果を投稿して頂きました先生方と査読をお引き受け下さいました先生方に編集委員一同心から感謝申し上げます。そして日頃より取り組んでいるこのような地道な研究と熱意のこもった教育内容を外部に向け情報発信することは本学看護学部をより多くの方々にご理解をして頂く貴重な機会であると共にこのジャーナルの使命でもあります。

2011年3月11日私たちは東日本大震災という未曾有の体験をいたしました。そしておひとりおひとりが自分に何ができるのか，日本の今後について思案されたのではないのでしょうか。現在も復興に向け様々な支援がおこなわれている中，本学も更なる『進化計画』が進行中であり，看護学部においても島谷智彦新学部長のもと新たな船出をいたしました。今後も広島国際大学看護学ジャーナルの益々の充実と向上を目指し，先生方からの多くの活発なご投稿を期待します。

(長沼貴美)

編集委員

委員長 新川 治子
委 員 長沼 貴美，梅田 弘子
木村 誠子，高畑 陽子
田中 博晃，濱井 和子
磯村 由美

査読委員 島谷 智彦，秋山 智
角山 照彦，川井 八重
近藤 裕子，長沼 貴美
山崎登志子，新川 治子
坂村 八恵，濱井 和子
吉岡さおり

広島国際大学看護学ジャーナル 第9巻 第1号

2012年3月31日 発行

発行：広島国際大学看護学部

〒737-0112 広島県呉市古新開5-1-1